

石薬だより



2023年5月号

索引

- ・石薬のうごき・・・・・・・・・・ (2)
- ・3/28 臨時総会報告・・・・・・・・ (3)
- ・部会から・・・・・・・・・・ (5)
- ・行雲流水・・・・・・・・・・ (6)

一般社団法人 石巻薬剤師会

石巻市大街道西2丁目 1-23

石巻薬剤師会ホームページ

<http://www.ishi-yaku.com>

(会員向けページ) ユーザーネーム : ishiyakueteran

パスワード : ishiyaku0225932511

今月の予定

5月11日(木) 学校環境衛生研修会

会場：石巻市かわまち交流センター 19:00~20:30

6月 6日(火) 桃生郡医師会学術講演会

会場：石巻グランドホテルおよびWEB 聴講 18:50~20:00

※研修会の詳細は 部会からをご確認ください。

🍯石巻市夜間急患センター勤務者募集🍯



平日 (夜間) 19:00~22:00

土、日、祝日、お盆 (夜間) 18:00~23:00

年末年始 (夜間) 18:00~23:00

小児科休日当番 (日中) 9:00~17:00

お問い合わせ先 (一社) 石巻薬剤師会事務局 TEL:0225-93-2511

石薬のうごき

令和5年3月26日 ~ 令和5年4月25日分

年	月	日	行事	場所	備考	担当部会
5	3	28	石巻薬剤師会 臨時総会	石巻市かわまち交流センター		総務
	4	10	正副会長会・各部部長会(第1回)	石巻薬剤師会事務所		総務
	4	13	令和5年度石巻地区学校保健会総会・研修会	マルホンまきあーとテラス	日山	学校保健
	4	17	石巻薬剤師会 学術部会(第1回)	石巻薬剤師会事務所	会長、志田、熊谷、高橋、 恵比須、阿部	学術
	4	20	石巻薬剤師会 学校保健部会小委員会	石巻薬剤師会事務所	熊谷、樽林、沼倉、阿部	学校保健
	4	24	令和5年度石巻地区薬物乱用防止 指導員協議会理事会	石巻合同庁舎	小野寺、会長、大森、 中里、土佐、菊地	学校保健

休日夜間薬局の譲渡の報告

会長 澁谷 和彦

石巻薬剤師会休日夜間薬局が3月30日、午前7時までの営業を持ちまして廃業いたしました。3月31日付けで石巻赤十字病院へ約4100万で臨時総会決議の金額で譲渡いたしました。譲渡は建物のみで什器等のなかの石巻市夜間急患センターで使用可能なものは移設して石巻市は薬剤師会への業務委託料に移設した機器の使用料を含める契約となっております。建設を決める総会の際に建物と什器で6500万という試算を致しましたが、そのときの建設予定地は石巻赤十字病院の自転車置き場の隣でした。設計図はすでに完成しておりました。平成27年夏のことです。

しかし平成28年10月には敷地内薬局解禁のニュースがそのころから流れるようになりました。

このことが後に石巻薬剤師会を苦しめることになるとは当時は思いもよりませんでした。

実は、東北厚生局と宮城県土木部には平成27年1月の時点で相談しており東北厚生局からは敷地内薬局解禁前でも特別に休日夜間薬局の指定を許可する、宮城県土木部からは市街化調整区域ではあるが県の補助事業でもあるので石巻赤十字病院のどの場所でも石巻市建築指導課から申請が上がってきたら許可するという回答を得ていました。

普通に考えると平成28年10月までには休日・夜間薬局が開局している予定です。

石巻市夜間急患センターは平成28年6月完成予定でしたのでゆっくり建設しても間に合う予定でした。その後、急患センターの工事に遅れが出て薬局のほうが早くできてしまったら石巻赤十字病院の処方箋を応需しながら急患センターの開所を待たなくてはならないということも考えておりました。

ところがこれを阻止したい方々がおられたようです。当時の県薬会長は全国の都道府県薬会長の中でも最も敷地内薬局に反対していた方です。厚生局は県薬会長の意向を反映させるべく許可はするけど場所はなるべく敷地の端のほうでしか許可しないとのことでした。当時の石巻の亀山市長はそんな場所に作ったら市民が不便を強いられるということで困っていました。

結局、厚生局は石巻市の陳情を受けて今の休日夜間薬局の位置までなら許すということになりました(指導監査課の話では県薬会長が許せば敷地のどこでも許可できたんだけどということを建築決まった後日談で聞きました)。

もう一つ、これが建築を遅らせた最大の問題で石巻市建築指導課に石巻薬剤師会にだけ市街化調整区域に建築許可を出すのはおかしいのではないかと(自分にも権利はあるのではないかと)という苦情が石巻市内で薬局を営んでいる方から建築指導課に来ているので公募にすると石巻市建築指導課が言うのです。他の市町村の会社からも同様の指摘は来ているが市民からとなると別の話になるようです。公募にするなら敷地内薬局解禁の平成28年10月を超えるかも知れないとその時は思いました。ちなみに石巻市で薬局を営んでいる方で建設の反対票をいれた方は1名だけです。

ただし宮城県土木部は県の補助事業だから特別に建築許可を出すと言っていると総会でも説明していたはずなのに、もし石巻薬剤師会以外が公募で選ばれたらどうするつもりなんだろう、石巻市建築指導課は、とも思いました。ぜひ石巻薬剤師会以外がやってくれるなら、そんな有難いことは無いと理事たちで喜んだのを記憶しています。

石巻市建築指導課が公募によるなら許可すると石巻赤十字病院に連絡してきたのが平成29年3月30日のことで

す。9月に公募、10月に審査という流れになりました。

平成30年2月着工、6月開局となりました。

この結果ですが建築場所が中途半端となりインフラ整備に別途1600万円ほどかかってしまいましたが元々500万円～600万円は最初の計画の場所でも想定していましたので不足分は震災時に全国から石巻薬剤師会の復興のために寄付された1000万円を充てました。

また平成30年4月の調剤報酬改定で新設された特別調剤基本料にも該当してしまい建築が遅れた影響でこの部分でも400万円の損が出ました。

開局後、その400万円と3か月間、後発品体制加算が算定できなかった影響で1年目の3月決算は10か月間で650万円の赤字が出ました。2年目の10か月经過した時点で700万円の黒字となり開局20か月で通算50万円の黒字になりました。令和2年2月の上旬には4月からの調剤報酬の概要が公表され処方日数の短い7日以下の調剤料が25点の丸目になり1日処方の多かった休日夜間薬局にはかなり有利な改正となっておりますので理事一同、喜んでおりました。中国で新しい感染症が出たというニュースも増収になる可能性が高いとみていました。ところが政府は発熱したら4日は自宅待機などと発表するものですから逆に経営で苦しむことになり2年間で2850万ほどの損失を出し子会社の株式会社医薬品センターの株主配当1200万円と女川薬局の利益を休日夜間薬局の赤字補填にあてました。令和5年3月の正確な決算は出ていませんが休日夜間薬局は450万円程度の黒字予想となっております。

先日の臨時総会で当時の理事の賠償責任を問う質問も出ておりましたが会費を棄損したわけでもなく平成28年10月以前に開局できていれば今回の急性期充実体制加算の対象の保険薬局からは除かれるので本来、会の決議に反して建築を遅らせた会員が居たことが大きな原因ですから当時の理事の責任はないと考えます。

また事業用定期借地権は圧倒的に地主に有利な制度となっております今回の契約相手は石巻赤十字病院ではなく日本赤十字社ですから低価格で譲渡したことに不満を持たれる会員もおられるでしょうが問題がこじれると昨年4月から厚労省との交渉結果を見守っていただいていた石巻赤十字病院の責任を本社が追及することにもなりかねないという事情をお察しく下さい。不動産鑑定額が低く査定されたのは新型コロナウイルス流行で売り上げが落ち込んだことが最大の原因ですが、そもそも年間地代が30万円の物件では多くは望めないのが普通と考えます。

※令和5年3月28日臨時総会の結果

出席者16名、委任状30名、書面での出席85名合計131名、会員数は186名

出席者 議長を除く全員が賛成(15) 委任状・書面 賛成113 反対2

結果 賛成128 反対2 議案第一号は可決いたしました。

以上

部会から

学 術 部

学術部担当理事 志田 彰範

～ 桃生郡医師会学術講演会のご案内 ～

* 本学術講演会は、研修認定単位を申請しておりませんので、ご了承ください

日 時 : 令和5年6月6日(火) 18:50～20:00

場 所 : 石巻グランドホテルおよびWEB聴講

1 情報提供 18:50～19:00

リウマチ治療薬 JAK 阻害剤ジセラカについて エーザイ株式会社

2 特別講演 19:00～19:40

座 長 医療法人社団 仙石病院 院長 長南 明道 先生

演 題 『リウマチ疾患の診断と治療』

講 師 東北医科薬科大学病院 血液・リウマチ科 准教授 小寺 隆雄 先生

3 ディスカッション19:40～20:00

司 会 ししど内科クリニック 院長 宍戸 友明 先生

テーマ:「リウマチ疾患について」

ディスカッサー わたなべ整形外科

院 長 渡辺 克司 先生

野蒜ヶ丘痛みクリニック

院 長 三浦 皓子 先生

関節外科スポーツクリニック

院 長 高橋 敦 先生

コメンテーター 東北医科薬科大学病院 血液・リウマチ科 准教授 小寺 隆雄 先生

行雲流水

十年前から地域のソフトボールチームに参加しています。7チームのリーグ戦で日曜日の朝5時半に近所の小学校に集合し、6時に試合開始、8時までにはグラウンド整備を終えて解散になります。毎年五月から十一月までに6試合をするのですが、リーグが出来て40年にもなるそうで私の入ったところからすでに選手の高齢化の問題がありました。

しかしながら、私の入団した当初のバッテリー（所属チーム）は20代の子が多く一足早く世代交代していたため、10年前はリーグで優勝するチームでした。これには理由があって、当時のキャプテンが近所のやんちゃなフリーター達を更生させるべく、半ば強制的に参加させていたからです。事情を知らない私は、茶髪にヒアスの若者が、なんで日曜の朝っばらからソフトボールをしてるんだらうと不思議に思っていました。同時に、まじめに試合をして負けると本気で悔しがる姿勢に感心していました。

年配の先輩たちの中には、地元で会社を経営している人もいて、仕事を紹介したり自分のところで雇ったりして、とても良い関係が作られています。

最近是他チームも世代交代が進み、バッテリーもなかなか勝てなくなってきました。私も40代前半のころは4番、5番を打っていたのですが、近年は下位打順に甘んじています。

今年もそろそろシーズン開幕です。それぞれ、家庭を持ち30代後半になって少しおなかの出てきたかつての20代から、クリーンナップを奪回するべく夜な夜なバットを振るのです。

